様式２号（第６条関係）

役員等兼業等依頼書・兼業許可申請書

 令和　　年　　月　　日

広島県公立大学法人理事長　様

県 立 広 島 大 学 長　様

叡　啓　大　学　長　様

　所在地（〒）

名　　　称

代表者職・氏名

次のとおり貴法人教職員を営利企業等の事務に従事させたいので，広島県公立大学法人職員兼業規程第２条　第１号又は第６号の規定に基づく兼業を依頼します。

|  |
| --- |
| 兼業の種類　　□　役員等兼業　　　　□　その他の兼業 |
| 兼業従事者　所属：　　　　　　　　　　　　　　　職名：　　　　　　氏名： |
| 兼業先の会社・その他の団体の名称 | 兼業先の会社・その他の団体の所在地 |
|  新規・継続の別　　□　新規　　□　継続 |  兼業先の事業内容　営利企業　・　その他 |
|  兼業先の職名　 |
|  報　　　酬 |  就職しようとする期間 令和　　年　　月　　日　～ 　　　　　 令和　　年　　月　　日 |
|  兼業先の勤務時間（その時間が本法人の教職員の勤務時間と重複する場合は，勤務時間の割振変更等により，勤務時間外の従事となるようにすること）□ 毎週 　□ 隔週 　　　　曜日　　　時　　　分　～　　　　時　　　　分□ その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　 |
| 承認の回答書　　□必要　（返信用封筒の同封にご協力ください。） |
| 担当者連絡先 |  |

【添付書類】（１）兼業先定款・規約

（２）役員名簿などの構成員名簿（営利企業の役員等の場合）

（３）利益相反自己申告書（随時申告用）

本法人教職員が作成し添付

（４）研究計画書（必要な場合のみ）

※以下は，本法人使用欄ですので記入不要です。

|  |
| --- |
| **許 可 申 請 届 出 書**（兼業対象の教職員が記入）上記役員等兼業等の許可を申請します。従事形態　　□　所定労働時間内　　□　所定労働時間外令和　　年　　月　　日　　　　　　　　氏　　名　　　　　　　　　　　　　　印 |
|  |
| 貴法人等から依頼のあった件について，差し支えありません。令和　　年　　月　　日（許可日） 　　広島県公立大学法人理事長　　　　　　　県立広島大学長叡啓大学長 |

※以下は，本法人使用欄ですので記入不要です。　　　　　　　　　　　　　　　　（裏面）

（兼業許可を申請する教職員が総務課提出時に記入）

|  |
| --- |
| １ 兼業先への移動時間及び移動方法（具体的に記入すること） |
|  |
|  ２ 兼業の理由 |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| チェック項目 | チェック欄 |
| １．申請書について |
| 　 | ●申請書の項目は全て記入がなされているか。 | 　 |
| 　 | ●兼業先定款・規約，及び役員名簿などの構成員名簿（営利企業の役員等の場合），兼職・兼業一覧表は添付されているか。 | 　 |
| ●研究計画書は添付されているか。（研究目的の兼業の場合） |  |
| ●利益相反自己申告書（随時申告用）は添付されているか。 |  |
| ２．営利企業等従事の要件について | 　 |
| 　 | ●本務の遂行に支障はないか。 | 　 |
| 　 | ●営利企業等との間に特別な利害関係またはその発生のおそれがないか。 | 　 |
| 　 | ●勤務時間及び給与を受ける時間が重複していないか。 | 　 |
| 　 | ●当該営利企業等に従事することにより，法人職員としての信用を傷つけるおそれがないか。 | 　 |
| 　 | ●学術研究の向上または地域貢献に資するものであるか。 | 　 |
| ３．服務について |
| 　 | ●往復に要する時間を含めて，１週間につき８時間以内の従事であるか。（ただし，教員の研究成果を活用する営利企業等に係る事案（兼業規程第４条第１項各号に該当する場合）については，例外的に個別判断とする。） | 　 |
| 　 | ●営利企業等に従事する時間数及び教育に関する兼業の従事時間の合計が１週間のうち，８時間以内であるか。 | 　 |
| 　 | ●営利企業等に平日に従事する場合，午前に従事する場合はH１～H5勤務（１３：００～２１：４５），午後に従事する場合はG勤務（８：１５～１２：１５，１８：００～２１：４５）に対応可能であるか。 | 　 |
| 注）チェック欄には，適合する場合は○印を，不適合の場合は×印を記入してください。 |  |

◆チェックリスト　（兼業許可を申請する教職員が総務課提出時に記入）